

【終了報告】 2024年2月20日開催
令和5年度 合同閉講式&「Life 生きてゆく」上映会

2/20令和5年度「子育て応援講座」および「湯のまち学びのカレッジ」「みんなでべっぴん子育てLabo」合同閉講式を開催しました。

式典では、受講生代表に講座に参加して得た学びや感想などを述べていただきました。また、各講座や事業の様子をスライドで紹介しながら一年間の学習の成果について事業報告を行いました。

「Life 生きてゆく」の上映会では、命の大切さ、日常を失った悲しみの中で生きることの意味など、津波と原発がもたらした福島の知られざる悲しみを知り、家族とは何か…生きることは…と改めて考えさせられました。

上映後のミニトークでは、この映画を製作することになったきっかけや撮影秘話など、笠井監督のこの作品への想いをお話していただきました。

一年間の最後の学習の場で、とても素晴らしい作品を観ることができ、有意義な閉講式となりました。

合同閉講式 & 「Life 生きてゆく」上映会の様子



本作監督 笠井千晶さんによるミニトーク



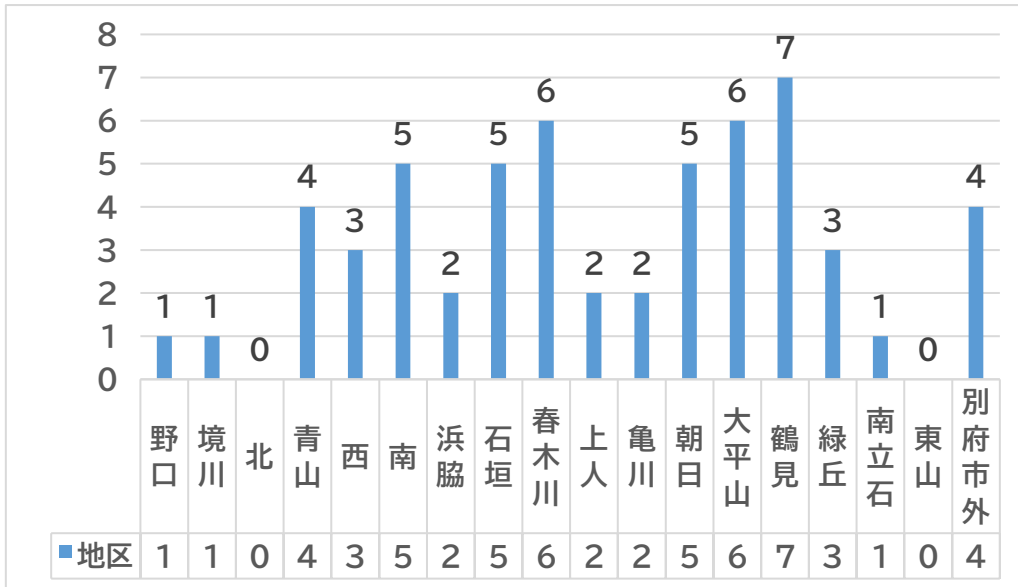
令和5年度「子育て応援講座」「湯のまち学びのカレッジ」
「みんなでべっぴん子育てLabo」合同閉講式 アンケート 集計結果

参加者数 98名

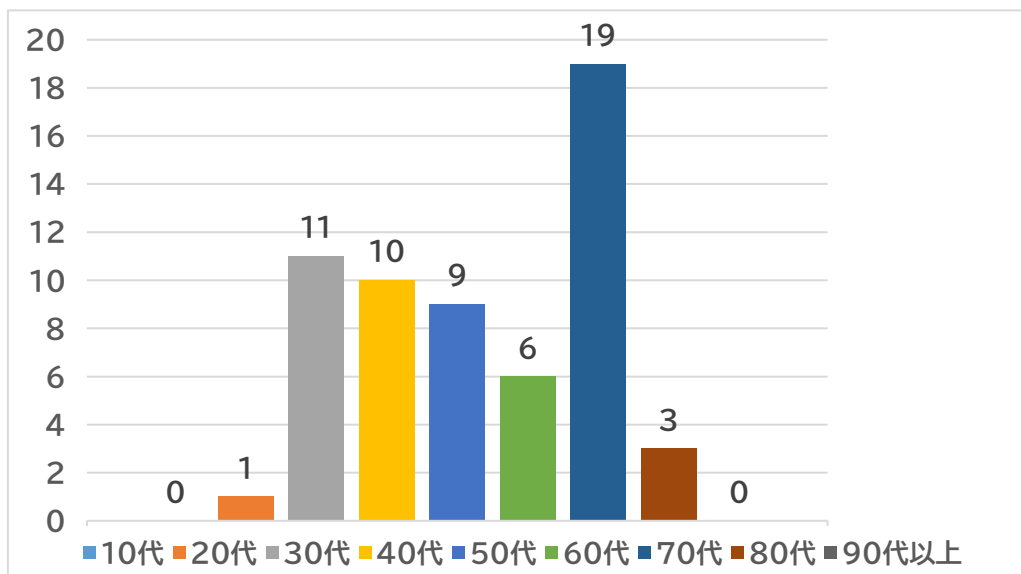
2024.2.20

アンケート回収 60枚

○あなたの住んでいるところを教えてください。



○あなたの年代を教えてください。



○本日の映画上映に関して、感想等をお聞かせください。

○報道だけでは知りえなかった事実、今だに苦しんでいるご家族の現状、そして活動が知れてよかったです。「いのち」「生きていく」ことの大切さはもちろん、人とのつながりの大切さを学びました。最近、地域や学校、子どもといったいろんなつながりがうすくなったように感じていたので、これをきっかけに自分でも微力ながら行動し、つながりを強めていけたらと思っています。素晴らしい映画でした。

○大変な苦しみに向き合った遺族の方の生きる力に感動しました。原発は人災ですが、大災害の時になすすべがなかったことが、本当につらいです。メディアの報道ももっと必要なこと、伝えてほしいと思いました。

○「原発」「つなみ」とかは想像もつきませんが、映画を見て改めて現実なんだと痛感しました。「きずな」と言いながら行政は何もしてくれない、個人が動かなければと言う上野さんの言葉が忘れられません。

○東日本大震災の行方不明者がまだいらっしゃることを忘れていました。津波で苦しんでいる人だけでなく、原発で苦しんでいる人もたくさんいらっしゃることも知りませんでした。原発に関しては人災だったのでしょうか？行方不明者が見つかるといいなと思いました。

○何年にもわたり密着しているからこそ描かれている当事者の人たちの心の変化、葛藤が胸にささりました。そして映っていない苦しみはどれほどなのかと、こころ苦しくなりました。だけれども、決して目をそむけてはならない、定期的に意識的に考えなくてはいけないものだ痛感しました。そして、今、目の前にいてくれる命を大切にしようと思いました。今日は貴重な機会を頂きありがとうございました。

○何年にもわたり密着しているからこそ描かれている当事者の人たちの心の変化、葛藤が胸にささりました。そして映っていない苦しみはどれほどなのかと、こころ苦しくなりました。だけれども、決して目をそむけてはならない、定期的に意識的に考えなくてはいけないものだ痛感しました。そして、今、目の前にいてくれる命を大切にしようと思いました。今日は貴重な機会を頂きありがとうございました。

○とても深く考えさせられました。

○地震、津波、は、日本列島のいつどこで起きてもおかしくない。今回は、ある家族を通してのドラマ、考えさせられました。

○あの日の事はショックで現実とは受け止められませんでした。当事者ではないから、痛みは少ししかわからないのでは…今も金の問題だけど、今はそれだけじゃないもっと今すぐ出来る事をするべきだと思いますね。政治家の人たち、何やってんだと、同じ国民なのかと…

○20代の頃、福島第一原発の設計をしていましたが、原発は震度7に対応するという設計でしたが、非常発電が地下にあり、海水で起動しなかった。原因はGEの設計が悪い!!

○見てて辛い、涙が出ました。風化してはいけないと思いました。伝え続けてください。その後が見たいです。

○知らないことがまだまだあって、学ぶことは大切だと思いました。引き続き学んでいきたいです。もっとたくさんの人に見てもらいたい作品だなと思います。

○・撮影前と中と後のスタッフの心境の変化は？・五輪よりも復興にエネルギーを向けるべきという意見があったが撮影当事者として、現場を体験してどう思う？・後日の風説については？(第2の広島?)

○「生の大切さ」亡くなった方々の思い、生きている人たちの頑張り…見ていて涙、涙でした。ありがとうございました。

○メディアでしか知らなかった情報と現実の違いを知り、ニュースなどが全てではないと思いました。大切なご家族を何年もかけて探し続けながら、日々の暮らしもしていけないといけない。つらさはこの映画を見て感じた以上のものだと思います。さりいちゃんも素敵な家族に囲まれて愛されていて幸せだと思います。周りにいる人を大切にすることを考え直しました。

○こういったドキュメンタリーを見ると、同じぐらいの子どもを育てる親として、今の自分に同じことが起こったらと思うと、たまらなく辛くなるし、それと同時に今よりもっと家族を大事に、家族との時間ひとつひとつを大切に過ごしていこうと思いました。

○震災から13年経て、改めて地震の怖さや、被災者の人たちの思いを見て、テレビじゃ伝わらない事など色々知れました。この映画がもっと広まってくれたらいいなと思います。家族や友人に対して今出来る事をしていきたいなと思いました。

○命さえあればどうにかなる！と感じさせる作品でした。大切な人を亡くすことだけでなく、その後その現実とずっと持って生きていく事を強く感じさせられました。感動しました。

○・実際に困っている人がいるところに報道、支援が廻っていないというところがすごく考えさせられました。・原発の問題で捜索活動がストップしていて、発見が遅れていたことなど知らないことだらけでした。知らないことが多く、他人ごとにしてしまっている自分を知ることになりました。もっと学ばないと思いました。人の繋がりをだいにしたいと思いました。

○報道等で知っているつもりでしたが、個人個人のことは全然知らなかったと思う。監督の笠井さんはすごいと思いました。

○心に刻んで忘れないで、子供にも伝えていこうと思います。

○改めて、震災や津波、事故への想い、今を大切に生きることを考えることになった

○TVの報道のように、悲惨な部分だけをクローズアップするのではなく、その土地で生きる人々の日々を描いているすがたに、深く心を打たれました。ありがとうございました。

○災害で死ぬことは怖くて苦しい。残され生かされて、生きていくのも苦しい。強い強い精神力がいる。笑顔になるには強い強い精神力希望がいる。人は一人では生きていけない。人様に助けられてこそ。映画を作って下さってありがとうございました。

○津波の怖さがすごい。人と人とのつながりが大切ですね。

○人のつながりや想いの中で「命」は成り立っていることを改めて感じました。巡る季節の中で何度も咲く菜の花が命の力強さと儚さをとても強く教えてくれている様で印象的でした。

○生きていれば一歩前に進むことができると感じました。

○家族や親しい人たちを大切にしようと思って改めて思いました。

○知らないことがたくさん知れて良かった。TVで見ていたのは本当に一部だと思った。参加できて良かったです。ありがとうございました。

○卒業式のシーンが一番辛かったです。家が解体される、ガレキの中から遺品を探す、実体験を思い出してその時の悔しさ、悲しさ、後悔を思い出しました。後悔はいつまでも残ります。

○知らない現実でした。全ての被害者に平等に補償や助け合いがあるものだと思っていました。原発はないと困ることでもあるが、命の代わりになっていいものではないと改めて思い知らされました。

○いろいろ考えさせられる映画だと思いました。

○とても心に残る内容でした。

○報道ではわからない部分を知ることができました。「知る」ことがこの映画ででき、大変感謝しています。

○毎日子ども達と接していく中で目の前のことだけでなく、まわりや色々な小さなことに気付ける目と心を一緒に育てていきたいと思いました。頑張っていきたいといけなとおもいました。

○ニュース以外で長時間見られた事で良かった。(当地に行くことができてないので)

○災害の怖さをつくづく感じた。地域力の大切さを感じた。

○生きることの大変さ、それでもそれに向かって生きる

○福島震災被害について、犠牲になった家族を思いながら生活する様子は見ていて辛かったです。残された家族が辛い思い出を抱えながらも地域の人々とかかわりながら一歩一歩進んでいく姿が感動的でした。

○この映画に出会えてとても良かったです。ありがとうございました。

○私は2011年4月~2013年3月まで宮城を拠点に福島に入っていました。南相馬は6号線沿いのドライブイン花園や小池仮設住宅の方々とつながっていました。その海側でこのような歩みがあったことを知りました。最初から最後まで画面に釘付けになりました。人が生きる、人が生かされる、人が前に進む「力」あり方を学びました。

○上野さん、木村さんの姿を見ていて、数年前にあったドラマ「監察医あさがお」を思い出しました。亡くなった女性(石田ひかり)を思う時任三郎(夫)、柄本明(父)の悲しみと重なって木村さんの娘さんの歯が見つかったシーンはどこか安心するとともにかなしかった。上野さんが少しずつ元気になって農業を続けていっている姿、本当に良かった。後、さりいちゃんに癒された。良い作品ありがとうございました。

○大変だったと再度思う

○震災を生きた子たちや、悲しみを背負ったように生まれた子たち、これからどんな大人に育っていくのだろうと思いました。悲しみは風化されてはいけなと強く思いました。

○ニュースでは知れない震災後の生活や心の変化が長期間にわたって映像化されていて現実起きたことを残していくことの大切さを感じました。監督へのインタビューも裏話が聞けて良かったです。続編もあれば見たいです！

○津波、原発、多くの悲しみを抱えながらも一步一步前に進んでいく力強さを感じました。

○最後は、やはり子供って素晴らしいなと思いました。

○涙しかありません。一生懸命いきているんだと思うと強いなあ。知らないことばかりです。

○改改めて人の生きていく力はすごいと思いました。私は高齢者ですが、若い方にも見てほしいと思いました。今日のこの映画に出会えたことに感謝します。

○自分たちだけの力で頑張っていることにびっくりさせられました。ようやく東電の人たちが関わり始めた。あまりにも遅い。次女が亡くなった人たちと一緒に暮らしている→とてもすばらしい

○笑顔で心やさしく、ご近所仲良く協力していきましょう。

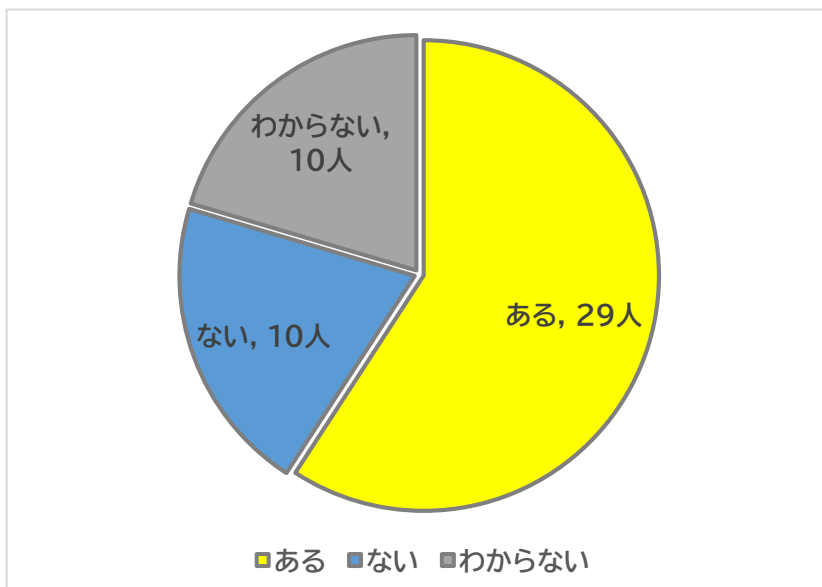
○考えさせられ心に残る映画、ありがとうございました。

○あの当時、TVで見られなかった本当の福島の実情、原発のことばかり報道される中、こんなに辛く苦しい現実に向き合いながら1年、2年と日々を乗り越え生きている方々の生の姿をみることができて、本当に良かったです。上野さんご一家の現実から目をそむけずに向かい合い生きる姿から、生きること、防災について考えさせられました。

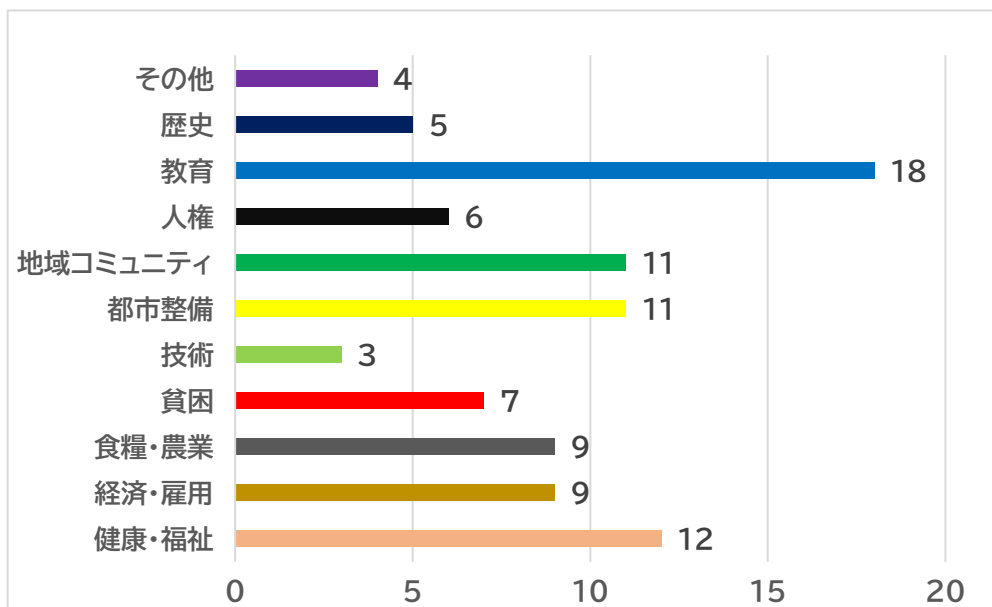
○変化のない一日が本当に幸せだと思いました。私は今とっても幸せです。

○何もないということの幸せを感じます。

○地域における困りや悩み、解決したいこと、学びたいことがありますか。



○(あると回答した方)それはどのようなことですか。(複数選択可)



○年間を通して、本課主催講座の運営に関して、ご意見・ご要望などあればお聞かせください。

○毎年、様々な角度からきりこんでいただき、講師の方を選んでくださり感謝です。今年度も多くの学びがありました。本当ならもっと多くの方に講座が届けられたらいいのですが、子育て中の親御さんは仕事等で都合がつかないことが多いので残念です。私自身は時間に割と融通がきくので多くの講座に参加できたので嬉しかったです。少しでも他の方にこの良さを伝えていきたいです。

○いろいろな講座があることをもっとたくさんの人に知ってもらえるようにお知らせしたほうがいいです。せっかくいい講座なのに参加者が少ないです。

○ありがとうございました。年間テーマを計画している事は感謝しています。出席者の少ないときは、何か申し訳ない気持ちになります。

○講座の申し込みを名前だけにしてほしいです

○色々知れて良かったです。

○友達に誘われてきて、感謝しています。胸が痛く、3月11日を一生忘れることはありません。今日という日を心を込めてありがとうございました。

○初めて参加しましたが、知らないことを知ることができる良い気づきの場だと思いました。

○キャッシュレスについてもっと知りたい

○いつどんな講座があるのかわかりづらい

○今日のイベント良かったので、これからも良いイベントを続けて下さい。

○いろんな講座を受講していろんなことを学びました。

○要望としてウクライナやガザの現状、市民目線での映像を是非上映して頂ければ、と思います。

○興味のある、色々な分野のテーマの講座が多い1年でした。今年も、時間が合う日は、聞きにきたいです。



社会教育課
フェイスブックページ

いいね またはフォローをお願いします ♪

社会教育課
インスタグラム

